

「ACP（人生会議）」セミナー in 小禄

講演①：『ACP「人生会議」セミナー』

講師：きなクリニック 在宅医 喜納 美津男 氏

演題②：『施設で行えるACP（人生会議）とは何か』

～訪問看護の立場から現場実践を通して～

講師：ウィル訪問看護ステーション豊見城 訪問看護師 山川 将人 氏

講演③：『利用者に寄り添うACP』

～それぞれの環境で、できることを考える～

講師：有料老人ホーム くれいん 管理者 高良 ミカ 氏

講演④：『ちむぐくルール ～ポイント⑧ 救急受診の判断と連携～』

講師：那覇市消防局 救急課 城田 覚 氏

講演⑤：『緊急連携シート ～病院の立場からのお願い～』

講師：沖縄赤十字病院 救急医 佐々木 秀章 氏

○日 時：令和5年4月26日（水） 午後7時00分～9時00分

○場 所：沖縄産業支援センター・1階 大ホール101

○参加者：35名

【背景】介護関連施設で、本人を中心としたACPの実践が進まない現状がある。

【目的】①本人・家族の希望があれば話し合える土壌を構築する。

②『緊急連携シート』の活用を通して救急連携のあり方について、セミナーを通し施設、医療機関、消防局との連携強化を図る。

【対象】有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム

【方法】①那覇市内4エリア（首里・真和志・小禄・本庁）へ出向き参集型で開催（今回は小禄）

②出前講座前に、コアの施設を選定し、準備会を開催する。

【結果】アンケートを参照下さい。

【考察】参加者より大変参考になったとの回答が多数あった。また、「ACPとは何かがわかった」、「色々な看取りの方法があることが学べた」等の感想があった。適当な人数だったため、グループワークはゆとりをもって議論している様子であった。第4回目は、本庁地区（5/24（水）開催・沖縄県立博物館・講座室）での開催を予定している。



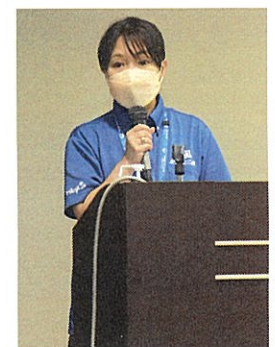
司会：佐久川 伊弘 氏



講師：喜納 美津男 氏



講師：山川 将人 氏



講師：高良 ミカ 氏



講師：城田 覚 氏

講師：佐々木 秀章 氏



グループワーク「ACPを実践するための事前準備」



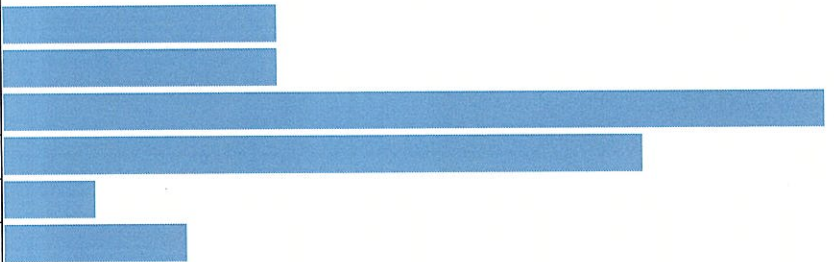
日 時：令和5年4月26日（水） 19：00～21：00

場 所：沖縄産業支援センター・1階 大ホール101

参加者：35名 回答者：25名（71.4%）

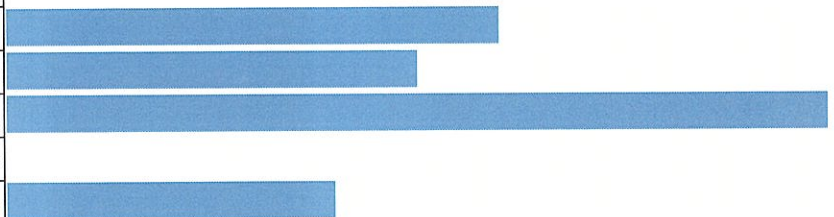
経験年数について

経験年数	人数	割合
1年未満	0	0%
1～5年未満	3	12%
6～10年未満	3	12%
11～20年未満	9	36%
21～30年未満	7	28%
31年以上	1	4%
無回答	2	8%
総計	25	100%



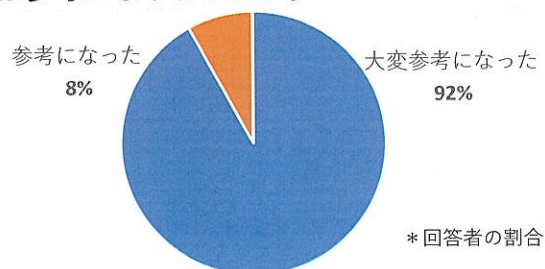
1. 職種の内訳

職種	人数	割合
看護師	6	24%
介護職（ヘルパー等）	5	20%
経営者・管理者	10	40%
地域包括支援センター職員	0	0%
その他	4	16%
無回答	0	0%
総計	25	100%



2. 『ACP（人生会議）』（講師：喜納 美津男 氏）は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	23	92%
参考になった	2	8%
まあまあ参考になった	0	0%
参考にならない	0	0%
総計	25	100%

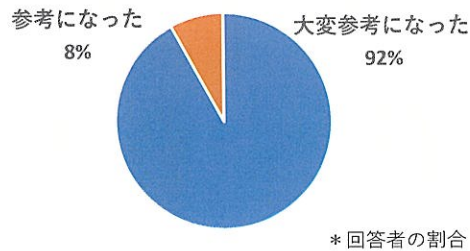


演題：『ACP(人生会議)』（講師：喜納 美津男 氏）について、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

- ・ ACPとは何かがよくわかりました。
- ・ ACPの必要性がわかった。
- ・ ACPを考えるにあたり課題が見えてきました。
- ・ 家族との話し合いが必要だと更に感じた。
- ・ 人生会議がわかるようになった。
- ・ まだまだACPについて知らない方も多いなか、わかりやすいガイドラインで説明して頂き、そのまま活用していきたいです。
- ・ ACPについて再認識できた。

3. 『施設で行えるACP（人生会議）とは何か～訪問看護の立場から現場実践を通して～』
 （講師：山川 将人 氏）は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	23	92%
参考になった	2	8%
まあまあ参考になった	0	0%
参考にならない	0	0%
総計	25	100%

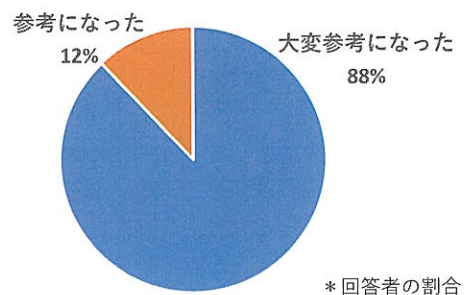


演題：『施設で行えるACP（人生会議）とは何か～訪問看護の立場から現場実践を通して～』
 （講師：山川 将人 氏）について、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

- ・わかりやすかったです。
- ・訪問看護の視点がわかりやすかったです。
- ・勉強になりました。
- ・ACPについて、職場でも取り入れて欲しいと思いました。同職だったので、すごく参考になりました。
- ・訪問看護の必要性を感じた。
- ・看護の関わり方が参考になった。

4. 『利用者に寄り添うACP ～それぞれの環境で、できることを考える～』
 （講師：高良 ミカ 氏）は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	22	88%
参考になった	3	12%
まあまあ参考になった	0	0%
参考にならない	0	0%
無回答	0	0%
総計	25	100%

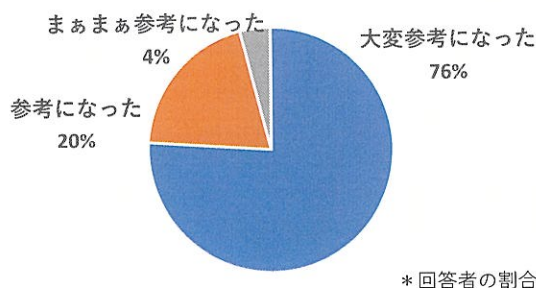


演題：『利用者に寄り添うACP ～それぞれの環境で、できることを考える～』
 （講師：高良 ミカ 氏）について、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

- ・色々な看取りの方法があることが学べました。
- ・実際の出来事を現場の方の声で聴けてより理解することができました。
- ・とても具体的でした。
- ・日々、介護、看護、多職種が利用者とのコミュニケーションを大事にしていることが分かった。
- ・実際の経験を交えての話はとても参考になりました。
- ・自宅に帰り看取りができたなんて本当にすごいと思う。
- ・今後の参考になった。
- ・自宅へ帰ることができたケース素晴らしかったです。多職種や家族との話が本当に重要だと気づかされました。
- ・本来の終末期について考えさせられた。

5. 『ちむぐくルール～救急受診の判断と連携～』（講師：城田 覚 氏）は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	19	76%
参考になった	5	20%
まあまあ参考になった	1	4%
参考にならない	0	0%
無回答	0	0%
総計	25	100%

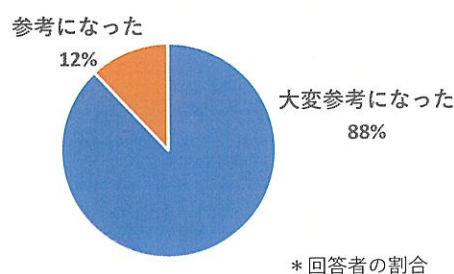


演題：『ちむぐくルール～救急受診の判断と連携～』（講師：城田 覚 氏）について、ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

- ・那覇市が救急車7台とは・・・少ない数にびっくりしました。
- ・改めて救急の方の大変さがわかりました。
- ・救急隊は困って大変だと思いました。
- ・判断がとても必要だと感じました。
- ・那覇での救急車の活動がこんなに多いとは思ってなかった。
- ・救急隊の方々、お疲れ様です。私達職員の考え方を改めないといけないと反省でした。
- ・那覇市内の救急車が7台しかないことに驚きました。看取りのケアができる場所が必要だと感じまし

6. 『緊急連携シート～病院の立場からのお願い～』（講師：佐々木 秀章 氏）は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	22	88%
参考になった	3	12%
まあまあ参考になった	0	0%
参考にならない	0	0%
無回答	0	0%
総計	25	100%



演題：『緊急連携シート～病院の立場からのお願い～』（講師：佐々木 秀章 氏）について、ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

- ・救急病院もそれなりに大変な思いをしていたことがわかった。
- ・緊急連携シートを活用できるようにしたい。
- ・今後、ACPが大事になってくることが理解できました。
- ・ぜひ活用したいです。
- ・救急病院の現状がわかり、情報の必要性が再確認できました。
- ・緊急連携シートを活用していきたいと思う。
- ・以前救急病院で働いていたので、あるあるだなあと感じました。
- ・シートの重要性を感じた。
- ・緊急連携シートを活用することが必要で、それを働くスタッフが把握することがもっと大事なことだと感じました。
- ・緊急について、ACPの表記があるのか。

7. グループワークはいかがでしたか。また、全体を通して、ご意見・ご感想等をお聞かせ下さい。

- ・皆さんが意見を出し良かったです。
- ・ACP、DNAR大変参考になりました。勉強不足なのでこれからも頑張ります。
- ・様々な意見が聞けて良かったです。
- ・やや時間が足りなかったと思います。また、19時から遅くも感じました。日中で出来れば良いと思いました。
- ・色々な人の意見を聞けてとても参考になりました。施設でもACPの勉強会などを行っていきたいと思いました。
- ・ACPの実施にて、本人様にとってより良い終末期に繋げていけたらと思いました。
- ・ACPを施設、家族、他の職種が少しでも知ることにつながる。
- ・ファシリテーターの話は参考になった。他施設の方との情報交換は大変勉強になり考えさせられることが多くありました。
- ・意見を出し合っていたことが良かったです。
- ・人物像をイメージしてグループワークをした方がもっと意見が出ると感じました。
- ・施設間連携のためのネットワークの構築が大切。